

横浜市在住の作家・永井紗耶子さん。仇討を題材にした『木挽町のあだ討ち』が直木賞、山本周五郎賞をダブル受賞した。語り口調の文体で時代小説を読まない人でもぐいぐい引き込まれ、一気に読んでしまう。登場人物の心の機微を丁寧に描いた永井さんの素顔に迫る。

## ハマっ子として

横浜市歌は完璧に歌えるし、アイスクリームや新聞の発祥は横浜だと教え込まれ、それを誇りに思うハマっ子です。開港記念日、平日でも堂々と友達と遊びに行き、横浜市民でよかったなあと思ったものです。ピアノの発表会を人形の家でやったことも。

元町・中華街が大好きで、チャージングセールは必ず行きます。中華街から日本大通りや馬車道までてくてく歩いたりして。横浜在住の作家たちの「作家会」に参加したり、仲間と市内の近代建築を巡ったり。

図書館もよく利用します。特に三溪園で知られる原三溪を描いた『横濱王』の執筆にあたっては、横浜にしかない資料も多かったの、紅葉坂の県立図書館や地元の図書館に足しげく通いました。三溪は関東大震災後の復興期、混乱にある中で演説し、「市民がいる限り横浜は必ず復興する」と熱く語ったといいます。資金が横浜より東京に流れ、港も横浜ではなく東京に移そうという話まで持ち上がった時、三溪が先頭に立ち横浜の復興に尽力したそう。芸術家支援にも力を入れるなど、文化的にも大変貢献した三溪。まさに横浜の誇りです。

## 頭の中はストーリーでいっぱい

両親は私を本好きにしたいと休日にになると私を連れて本屋さんへ。親が与えたい本ではなく私が好きな本、欲しがる本を買ってくれました。本と相性も良かったのか、おかげですっかり本好きに。市の読書感想文コンクールに何度か入賞、表彰式の帰りに伊勢佐木町でご飯を食べる。そのうれしい記憶と街がセットになって心に浮かびます。

子どものころからお話を考えるのが大好きで、友達と人形遊びをする時も私がストーリーを設定する。みんながほどよく主役にな

るように気をつかいながら(笑)。

歴史好きで、受験勉強ではただ暗記するだけでは退屈なので、人物について、つい人名辞典で調べてしまう。すると、へえ〜、この人こんなエピソードがあるんだと。そしてそこに出てきた関係者についても調べてしまい、芋づる式に試験には関係ない部分が増えて。この人のこのエピソードは小説になりそうというリストを作っていました。

小説家になりたいと、いろいろと作品を書いてはいたのですが、大学卒業後は新聞記者を経てフリーライターになりました。さまざまなジャンルの記事を書き、楽しかった。このままフリーライターでやっていくのもいいかなと思った矢先、リーマンショックで仕事が激減。時間ができた今なら小説を書けると応募した作品がデビュー作となりました。

## 時代違えど変わらぬ「心」

山本周五郎賞、直木賞のノミネート・発表と続き、ずっとレースで走り続けている感覚で、ここにきて、ようやく受賞の喜びをかみしめているところです。賞をいただいた『木挽町のあだ討ち』はいわゆる「仇討」が題材。仇討という忠義や孝行などと美談として語られがちですが、果たして本当にそうなのか。美談に隠れて苦しい思いをしている人がいるのでは?周囲からの圧力による仇討なら、ともすれば現代のパワハラと同じなのではないか。いつも頭の片隅に引っかかっていたことです。

作品の舞台は芝居小屋、エンターテインメントの世界。自分が暮らす世界だけで生きていくと、人はどうしても行き詰まってしまう。武家社会という狭い世界で生きた武士も同じこと。誰にとっても逃げ道が必要で、世の中には違う価値観、違う世界があり、芝居でも音楽でも小説でもいい、違う価値観に触れ非日常に触れることは、自分を変えられるほどの力があるのではないかと。そんなことも伝えた



作家  
永井 紗耶子さん  
Nagai Sayako

1977年生まれ、横浜市在住。大学卒業後、新聞記者を経てフリーランスライターとなり、新聞、雑誌などで幅広く活躍。2010年『絡繰り心中』で小学館文庫小説賞を受賞しデビュー。20年に刊行した『商う狼 江戸商人 杉本茂十郎』は、細谷正充賞、本屋が選ぶ時代小説大賞、新田次郎文学賞を受賞した。22年、『女人入眼』が第167回直木賞の候補作に、『大奥とめよるすおつとめ申し候』『横濱王』など著書多数。

かった。

万葉集を読んで現代の私たちが感動するように、人間の本質、心の根っここの部分は時代を超えて変わらないもの。時代物を書きながらいつも頭に置いていることです。

## 海外にも届けたい

書くことは好きだし、楽しい。作家という夢が叶って幸せだなと思う一方、行き詰まると、私はなんでこの道を選んだのか……壁に頭をゴーン、みたいな(笑)。

私がシェイクスピアや三国志を読んで感動するように、海外の方にも楽しんでもらえるものを書きたい。やってみたいことはいろいろあり、ワクワクしています。

飼犬との散歩が一番の癒しタイム。彼は

私が書いている時はいつも足元にいます。夜12時を過ぎて仕事をしていると、そろそろ電気を消してくれませんかとかじーっとにらんで圧をかけてくる。朝、9時半を過ぎても私が仕事を始めないと、先に書齋に行き、私が行く「遅い」みたいな顔をして。始業時間に遅れた部下と厳しい上司のよう(笑)。おかげで完全に朝型生活です。

### 直木賞・山本周五郎賞W受賞

『木挽町のあだ討ち』  
永井紗耶子 著  
(新潮社) 1,870円(税込)



本書冒頭を  
音声で



総料理長 磯貝 徹 監修

横浜ベイシェラトン ホテル & タワーズ

## 特製おせち 2024

晴れやかな新年に華を添える 和・洋・中の豪華美食を詰め合わせました

ご予約期間 12月28日(木)まで  
お渡し日時 12月31日(日) 10時~19時  
※B1Fベストリーショップ「ドーレ」でお渡し。配送ご希望の場合、クロネコヤマトクール便で配送いたします(送料別)。

4人前 和・洋・中 おせち三段重 ¥48,600 (税金8%込)

3-4人前 和・洋・中 おせち二段重 ¥35,640 (税金8%込)

2人前 和・洋・中 おせち一段重 ¥20,520 (税金8%込)

早期予約限定特典  
おせち三段重  
11/15(水)までのご予約で  
ホテルギフト券  
¥4,000分  
プレゼント

横浜ベイシェラトン ホテル & タワーズ  
〒220-8501 横浜市西区北幸1-3-23

ご予約  
お問合せ 045-411-1188 (10:00~19:00)

レストラン総合予約  
オンライン予約はこちら▶

※写真はイメージです。※予定数に達し次第、受付終了とさせていただきます。  
※仕入れの状況により、一部料理内容の変更、または盛り付け等が変わる場合がございます。